

第8回銀河セミナー

演題：「低温下における飽和含水岩石の力学的・熱力学的性質」

講師：鴨志田 直人氏

(岩手大学 理工学部 システム創成工学科
社会基盤・環境コース 助教)

主催：岩手大学理工学部 研究高度化・グローバル化特別対策室

協賛：INSエネルギー変換技術研究会

日時：平成30年12月12日（水） 10時00分～11時00分

場所：岩手大学 理工学部 復興祈念 銀河ホール

■講演概要

第8回銀河セミナーでは理工学部システム創成工学科社会基盤・環境コースの鴨志田直人氏に「低温下における飽和含水岩石の力学的・熱力学的性質」について講演していただきます。

2011年の東日本大震災以降、原子力エネルギーの安全性に対する懸念が強まりつつある日本において、石油代替エネルギーとして天然ガスや液化水素などの低温液化燃料の需要増大が期待されています。低温液化燃料の安定供給には貯蔵施設の確保が課題であり、国土の狭い我が国では液化燃料を常圧低温下で貯蔵する岩盤内貯蔵施設の重要性が認識されています。

本セミナーでは、間隙水の凍結が岩石の力学的・熱力学的性質に及ぼす影響について、我が国におけるエネルギー備蓄の必要性、岩盤内貯蔵の歴史と特徴から最近得られた知見までを講演いたします。

本学教職員・学生どなたでも聴講していただけますので、お誘い合わせの上、是非ともご来場ください。

KEY WORDS : 岩石、間隙水、熱拡散率、強度定数

*本研究の一部は、JSPS科研費JP23760437・JP2620477・JP17K06551の助成を受けたものです。